

1	有限会社 彩倅	
	事業テーマ	
事業類型	千葉県産日本酒を使用したプレミアムチョコレートの開発および輸出	
一般型		
	対象類型	革新的サービス



事業実施の成果

チョコレートの形、日本酒ジュレの特徴、チョコレートから漏れないジュレの粘度、酒蔵さんを訪れた時のイメージしたカラーリング等に試行錯誤し、完成しました。その後、百貨店をまわり、初年度には2店舗、次年度は3店舗で販売することが出来、とても反響も良く、良いスタートが切れました。



今後の展望

安全な品質管理と品質向上を目指し新製品、販路拡大、海外事業にも取り組みたいと考えています



平成27年度補正ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金
社長の一言



千葉県内の酒蔵様にご協力頂き、このようなチョコレートが完成致しましたこと大変感謝しております。チョコレートという性質柄、春から夏の季節に弱いのですが、このチョコレートは冷凍販売も出来るためその強みを生かし、これからもインターネット販売を筆頭に販路拡大に努め、千葉からチョコレートを発信できるように努力して参りたいと思います。

・本事業への取組みの経緯・目的

商圏人口の減少のため、外売りの強化と地域の特産品を生かした商品「千葉県産日本酒入り」オリジナルチョコレートの生産のため、新規設備を導入して雑菌を排除する生産体制およびタクトタイムの短縮と生産量の増加に取り組みました。今回得た生産体制および競争力のある商品を武器に拡大傾向のあるチョコレート市場、並びにジャパンブランドとして輸出市場にも事業を拡大していきます。

実施内容

細菌を排除し生産体制を整えるために、プラストチラー(チョコレートの温度管理)。テンパリングマシン(温度調整)、ワンショットデポジッター(薄いチョコレートの中に内包を入れて絞り出し)、クーボ(日本酒ジュレ製造に必要な加熱真空を行う)等の設備を導入し試作を重ね完成しました。



企業データ

主な事業・業種	食料品製造業
得意分野	スイーツ生産販売
所在地	千葉県我孫子湖北台1-18-3
TEL	04-7188-5543
FAX	04-7188-5542
設立	平成4年6月26日
代表者	代表取締役 齋藤清
従業員数	30
資本金	1,000万円
売上高	2億円(令和元年度)
URL	http://www.menuett.co.jp/
Email	menuettkm@herb.ocn.ne.jp

事業テーマ

IT技術を活用した革新的な神輿提案ツールの開発と祭り・神輿文化の振興

事業類型

小規模型

対象類型

革新的サービス



・本事業への取組みの経緯・目的

神輿製作は昭和30年頃をピークに大幅に減少し今では修復が大半になっています。また神輿への興味や拘りも薄れていて当社のように職人を抱え一貫製作している所はほぼ存在していません。そんな環境ではありますが、現代の人たち神輿の製作工程や神輿の構造などをわかりやすく伝え当社のブランドを強化し、より多くの人に本物神輿を伝えたいと思い取り組むことにしました。

・実施内容

IT技術を活用し神輿を組み替えイメージを伝えやすくするためのシュミレーションシステムの開発しました。実際の神輿パーツ解体模型や作業工程のパネルを展示した「神輿ミュージアム」を建設し既存のお客様以外の方々に見学に来ていただき神輿についてのより詳しく説明、紹介します。



事業実施の成果

神輿製作のイメージが伝えやすくなり商談のスピードが向上しました。また神輿の構造や作業工程などを丁寧に説明することにより他社との差別化になり自社のブランドイメージ向上にもつながりました。



今後の展望

海外旅行客のなどを多く受け入れ神輿の製作工程など見学してもらい神輿の文化を国外にも発信していきたいと思っています。



平成27年度補正ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金

社長の一言



行徳地域の産業であった神輿製作も老舗2軒が廃業し業界を取り巻く環境は非常に厳しいですが、弊社の「先人より受け継がれた伝統文化を時代と共に進化させ未来へとつなげる」を理念とし神輿づくりの技術、神輿文化を継承し精進していきたいと思っています。

企業データ

主な事業・業種	神輿・神仏具製作・修理・販売
得意分野	木製工芸品
所在地	千葉県市川市本塩21-3
TEL	047-357-2061
FAX	047-357-0809
設立	1850年
代表者	中臺 洋
従業員数	19名
資本金	500万
売上高	2億
URL	http://www.mikoshiya.com
Email	hiroshi@mikoshiya.com

3

有限会社チバテック

事業テーマ

事業類型

最新型レーザー加工機等とIoTを活用した、生産プロセス革新による、再生医療アイソレーター事業確立

第四次産業革命型

対象類型

ものづくり技術



バーチャル試作例

事業実施の成果

設計・製造リードタイムの短縮と低コスト化による顧客満足度向上を実現し、今後の成長分野である再生医療用アイソレーターの受注力強化を図ることができました。



アイソレーター 例

社長の一言



チバテックが21世紀を目指すものは限りない技術の追求です。
この度、ものづくり補助金を利用致しまして、最新型のファイバーレーザー加工機を導入致しました。
半導体業界、理科学業界、製薬業界、特に製薬業界に於いては近年アイソレーターの需要が増加しており、新しい設備のロボット化IoT化で事業の成長を通して皆様に貢献したいと思います。

顧客



当社

バーチャル試作システム

アマダ社(監視)



サーバー(保守・分析)



社内LAN



レーザー加工機&オートチェンジャー



ベンダー

・本事業への取組みの経緯・目的

当社では、客先からの概念設計資料をもとに製品意匠設計を行い、CAD/CAMで部品製作図と数値制御加工プログラムを作成し、ガスレーザー加工機で板材の切断と穴あけ加工を施し、ベンダーで曲げ加工を施します。溶接組立後、最後に部品組付しています。
現状の生産プロセスでは、設計時間が長くなり設計ミスも多発し更に設計品質の検証が不十分でした。生産設備も旧式のため製造リードタイムが長くコストの問題がありました。

・実施内容

本事業では、アイソレーターの設計にバーチャル試作システムを導入し生産プロセスでは最新型レーザー加工機およびシャトルテーブルを導入し、自動化（ロボット化）とIoT化を推進しました。

今後の展望

今後アイソレータ市場が大きく拡大すると期待されています、再生医療の現場では細胞治療や細胞の培養などでの需要増が期待できます。生産面では生産工程の効率化や機械設備の予知保全だけでなく、新規注文にも迅速かつ、顧客の要求にマッチした対応ができることが期待できます。



顧客要求に迅速に対応し成長を継続する

企業データ

主な事業・業種	生産用機械器具製造業
得意分野	クリーンルーム機器の設計製造
所在地	千葉県千葉市花見川区宇那谷町53番地
TEL	043-259-0401
FAX	043-259-7125
設立	昭和63年8月1日
代表者	代表取締役 窪田光治
従業員数	22
資本金	1,000万円
売上高	3億8,000万円（令和元年度）
URL	
Email	h-suenaga@chiba-tech.co.jp

4

張替鉄筋工業株式会社

事業テーマ

事業類型

一般型

超高強度コンクリートに対応する鉄筋加工機導入と生産性向上計画

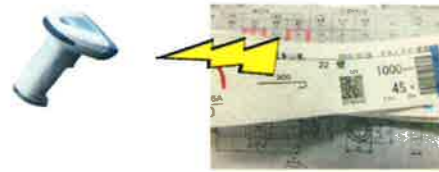
対象類型

ものづくり技術

導入設備:自動曲げ加工機



データ入力自動化

①加工指示書のQRコードを
リーダーで読み取る

自動入力

②自動で加工機の設定画面に入力・反映される
この時 SD490 の曲げ加工による伸び寸法も
自動計算されるため、経験や勘は不要

工場外観

事業実施の成果

加工時の技術的課題となっていた設定時間の短縮（経験や勘が不要）と、最新設備によって生産性を4倍に高めることで、太物生産ラインのボトルネックを解消して加工場全体の生産性を高めることが可能になりました。



平成28年度補正革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金

社長の一言



「安全」「品質」「低コスト」を常に心掛け業務に取り組んできました。現場毎に知恵を働かし試行錯誤し、小さな努力を積み重ねることで、他社には真似の出来ない会社になっていくと考えます。

今後は人材の確保と育成に一層力を入れていく必要がありますが、そのためにも「働きやすい環境の提供」が大事です。ものづくり補助金を活用した設備投資をはじめ、より生産効率の良い設備を導入することは、従業員の働き易さに繋がります。当社の働き方改革を実現するためにも、自動化および生産性向上に取り組んで参ります。

・本事業への取組みの経緯・目的

当社は、ゼネコン作成の建築図面をもとに、必要な鉄筋の「曲げ形状」と「本数」を計算、工場にて加工した後、建設現場の工期に合わせて納品しています。鉄筋の加工は切断と曲げであるが建築物や使用される部位によって鉄筋の太さの異なるものをバランスよく生産する必要があります。高層ビルに使用される超高強度鉄筋の需要増加が見込まれる中、当生産ラインの再構築を行い需要変化への対応力をつけることを主目的としました。また、現状の曲げ加工機は「手動操作」であり設備の性能も低く加工に時間がかかることに加え、事前の曲げスピードの調整にも時間を要しているため、作業の自動化に取り組む生産性を高めることも目的としました。

・実施内容

本事業では新たに超高強度鉄筋の曲げ加工にも対応した鉄筋自動曲機を導入し、ボトルネックとなっている太物加工の生産ラインを構築しました。また、加工指示書のQRコードを読み取ることで、製品の加工進捗状況が社内の無線LANを通じて基幹システムへ自動で反映できるため「いつ・誰が・何本」加工したかをリアルタイムに（「作業開始」「終了」だけでなく）把握・蓄積できるようにしました。

今後の展望

まずは主取引様への対応を行い、生産性の向上および歩留まりの向上により、建設現場の工機に合わせた安定的な生産体制が構築できました。今後については、順次新規取引様の開拓を進めてまいります



企業データ

主な事業・業種	鉄骨・鉄筋工事業
得意分野	鉄筋の切断・曲げ加工
所在地	本社：東京都葛飾区柴又5丁目45番1号 八街工場：千葉県八街市吉倉瀬田入609-15
TEL	043-445-1557
FAX	043-445-1558
設立	昭和61年8月5日
代表者	代表取締役 張替英二
従業員数	82
資本金	1,000万円
売上高	28億円（平成31年度）
URL	https://www.harikae.co.jp
Email	harikae@harikae.co.jp

事業テーマ

事業類型

不要立体駐車スペースの有効活用を目的とした平面化に伴う鋼材の短納期化及び低価格化

一般型

対象類型

ものづくり技術



事業実施の成果

鋼材加工の内製化により外注に加工を依頼していた時に比べ加工費が25%低下、鋼材の輸送コストも同時に削減することができました。納期も今までの43日から19日へと大幅に短縮することができ、価格及び納期面での客先ニーズへの対応力が強化されました。また製品のモデルチェンジの試作品も自社で迅速に制作することが可能となりました。また、加工機があることで新製品を作るという概念が生まれ、社員の思考力活性化にも繋がりました。

今後20年間の維持管理費を96.0%削減



今後の展望

都市部マンションの立体駐車場ではさらに空きが増え続け今後はさらに引き合いは増えるものと予想しております。立体駐車場を平面化すればEV充電器の設置やコイン式駐車場やカーシェアリングの用地として利用可能になります。もちろん維持費などに悩まされることもなくなります。今、駐車場業界は大きな転換期に入ろうとしています。当社はスマートデッキという製品を通して社会問題を解決して便利な世の中に変えることができると確信しております。

平成29年度補正 ものづくり・商業・サービス
経営力向上支援補助金

社長の一言



建設業の6次産業化を目指し、製造業に取り組みました。製造機械購入に当たり、メーカーさんより「ものづくり補助事業」を紹介されました。補助金の助成には様々なメリットがあります。投資金額の抑制・収益の向上・生産性向上・顧客と銀行の評価向上などです。機械設備導入から2年が経過し、新工場建設に至りました。今後は、更なる生産性向上と社会貢献の両立をめざし、新たな「ものづくり補助事業」にチャレンジしたいと思っております。



・本事業への取り組みの経緯・目的

当社は東京都江戸川区に所在する創業25年目の建設会社で、マンションの立体駐車場を設置する事業を手掛けております。近年の少子高齢化、交通網の発達、カーシェアリングの普及などによる車保有率の低下により立体駐車場の顕著な空車率の増加を受け、共同住宅では保守費用の負担が問題となっております。そこで当社は立体駐車場を解体し平面化することで維持費の削減を提案する平面化事業をスタートいたしました。立体駐車場を解体するとピットというコンクリートの箱が残ります。これを土砂などで埋め戻さず短納期化及び低価格化を図り、平面化することの出来る「スマートデッキ」を自社で開発しました。当初は全ての鋼材加工を外注しておりましたが、客先からの大量発注も増えてきており、低価格化と短納期化の要望を受けることが多々ありました。しかし自社生産でないため要望に応えることが出来ず悩んでいたところ本事業を知りこの問題を解決するべく設備を導入し鋼材加工を内製化することに踏み切りました。

・実施内容

自社で開発した「スマートデッキ」の製造において、従来外注していた加工工程を内製化するために、弊社工場に加工設備を導入しました。導入設備を活用し、H鋼で柱梁、アングルやフラットバーで連結金具などの内製化を実現しました。加工内容はH鋼をドリルバンドソーで切断してからユニットプレスで孔あけ、連結金具はユニットワーカーで切断後に孔あけができるようになりました。メッキ鋼材を使用しているので加工時の汚れ付着が懸念事項でしたが切削油などがつかず非常に仕上がりが綺麗です。導入した設備はNC制御で自動切断、孔加工してくれるので時間も短縮できて空いた時間をその他の作業に活用できます。またユニットプレスとユニットワーカーは金型が多数あるので汎用性も高く試作品を作成するのに重宝しております。

企業データ

主な事業・業種	駐車設備の製造・販売・施工
得意分野	駐車場に関わること全般
所在地	本社 〒134-0085 東京都江戸川区南葛西6-13-14 実施場所 〒275-0001 千葉県習志野市東習志野7-1-1
TEL	本社：03-3877-0993
FAX	本社：03-3877-0997
設立	1995年12月12日
代表者	山崎 智博
従業員数	25名
資本金	4600万円
売上高	11億6200万円
URL	https://gouriki-kensetsu.com/company/
Email	office@gouriki-kensetsu.com

6	株式会社 新倉
事業テーマ	
事業類型	割れ米・米ぬかを活用した米屋の米粉バウムクーヘンの試作品開発
小規模型	
対象類型	革新的サービス



・本事業への取組みの経緯・目的

当社は明治39年創業、米穀を生業にして114年。もう、美味しい、食べやすいという切り口だけでは、差別化ができないお米。米離れも進み、消費も減る中で、当社では、長年、精米時に発生する米ぬか・割れ米を有効活用した、米屋の強みを生かした米加工菓子の開発を課題としていました。そこで、補助事業を活用し、味・見た目に加え、以下の条件を満たす、新商品を開発することとしました。

ア. メインの原材料は当社の米とする。 イ. 自社での大量生産が可能。 ウ. 保存性が高く廃棄ロスが少ない。 エ. 経験・技術が浅くても他社商品と差別化がしやすい。 オ. 設備投資額が過大でない。

具体的新商品として、米粉加工菓子の中でも、鴨川市で製造しているところが無く、冷凍保存で食感が良くなるバウムクーヘンが最適だという結論に達し、取り組みを開始しました。

・実施内容

新商品開発のため、製造設備を導入しました。導入に当たっては、製造ノウハウ・商品開発に関して、サポートがしっかりしているメーカーを選定しました。試作を繰り返し、精米時に発生する米ぬか・割れ米を再活用し、地域資源である「長狭米」や「さつまいも」、千葉県産にこだわった卵や他の素材を使った商品を開発しました。もともとバウムクーヘンは、製造に専門のオープンが必要であるため、他の焼き菓子に比べて販売しているお店が少ないのですが、当店はその中でも大変珍しいとされている「手焼一本焼きオープン」を使ったバウムクーヘンを開発しました。この手焼きオープンは、バウムクーヘンの製造に高い技術が必要であることや、大量生産ができない（一度に一本しか焼くことができない）等の理由から、日本国内でこのタイプのオープン（ガスタイプのオープン）を使用してバウムクーヘンを焼いている洋菓子店はごくわずかとなっています。



事業実施の成果

製造設備導入から初めは試作を繰り返し、多くの展示会や商談会でバイヤー様や観光施設など専門家の意見を聞きながら、商品のコンセプトである地域の素材を使用して商品を作りました。最初は、PRもできていなかったので販売数は伸びませんでしたが、お店のリニューアルと共に商品のPRを進め、千葉県主催の食品コンテスト「ちばの逸品を発掘」にて直売所部門金賞を受賞し、販売数も現在はひと月に1000個以上に伸びています。



今後の展望

今後は開発したバウムクーヘンの販路を更に拡大し、多くの消費者に本商品を知ってもらうことで、減少傾向にあるコメの新規需要を拡大したいと思います。又、千葉県産にこだわった様々な素材を使うことで、地域の活性化にも貢献していきたいと考えています。



平成29年度補正ものづくり・商業・サービス 経営力向上支援補助金

社長の一言



農家さんも高齢化し、食も多様化し、お米の消費量は減少している昨今で、昔ながらの玄米を農家さんから仕入れて、精米して販売するだけでは、米屋の未来はないと思っています。お米の消費は逆境ですが、お米は日本の、地域のコミュニケーションだと実感しています。そんなお米を加工品に変えて、多くのお客様に知っていただき、新時代の米屋として、お米のPRに繋げていきたいです。



企業データ

主な事業・業種	製造業
得意分野	米・米加工品
所在地	本社・事業実施場所 〒296-0041千葉県鴨川市東町999-11
TEL	04-7094-5588
FAX	04-7094-5589
設立	1906年
代表者	斎藤英之
従業員数	14人
資本金	1000万円
売上高	2億5千万円
URL	https://komeyashingura.jp/
Email	info@shingura.co.jp